

2022年度（令和4年度）国民経済計算年次推計 （フロー編） ポイント

1 . 支出	P 1
2 . 所得	P 3
3 . 生産	P 9
4 . 純貸出(+)/純借入(-)	P 11
5 . 一人当たり名目GDP、名目GNI、国民所得、実質GDP	P 15
6 . GDPの国際比較	P 16



令和5年12月25日
内閣府経済社会総合研究所
国民経済計算部



(注1) 今般公表される計数表は、内閣府経済社会総合研究所ホームページ (<https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>) に掲載。
(注2) 「1. 支出」及び「2. 所得」の(1)国内総所得(GDI)、国民総所得(GNI)は、令和5年12月8日に公表済の計数。

1. 支出

令和4年度の名目国内総生産（GDP）（支出側）は前年度比2.3%増と2年連続のプラスとなった。

実質国内総生産（GDP）（支出側）については、前年度比1.5%増（2年連続のプラス）となった。

	平成	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和	2年度	3年度	4年度	令和4年度 構成比(%) 2022
	17年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	元年度	2020	2021	2022	
名目GDP(支出側) (兆円)	534.1	537.3	538.5	516.2	497.4	504.9	500.0	499.4	512.7	523.4	540.7	544.8	555.7	556.6	556.8	539.0	553.6	566.5		
名目GDP(支出側) (前年度比、%)	0.8	0.6	0.2	-4.1	-3.6	1.5	-1.0	-0.1	2.7	2.1	3.3	0.8	2.0	0.2	0.0	-3.2	2.7	2.3		
GDPデフレーター (前年度比、%)	-1.3	-0.7	-0.8	-0.6	-1.2	-1.7	-1.5	-0.7	-0.1	2.5	1.5	0.0	0.2	-0.1	0.8	0.7	-0.1	0.8		
実質GDP(支出側) (前年度比、%)	2.2	1.3	1.1	-3.6	-2.4	3.3	0.5	0.6	2.7	-0.4	1.7	0.8	1.8	0.2	-0.8	-3.9	2.8	1.5	100.0	
国内需要 (前年度比、%)	1.6	0.5	-0.1	-2.6	-2.7	2.4	1.5	1.4	3.2	-1.0	1.6	0.1	1.3	0.4	-0.3	-3.2	2.0	2.0	104.1	
(寄与度、%ポイント)	1.6	0.5	-0.1	-2.6	-2.7	2.4	1.4	1.4	3.3	-1.0	1.6	0.1	1.3	0.4	-0.3	-3.3	2.0	2.0	77.3	
民間需要 (前年度比、%)	2.7	1.0	-0.3	-2.9	-4.7	3.2	1.6	1.5	3.2	-1.4	1.7	-0.1	1.6	0.2	-1.1	-5.4	2.3	2.7	77.3	
(寄与度、%ポイント)	2.0	0.7	-0.2	-2.2	-3.6	2.4	1.2	1.1	2.5	-1.1	1.3	-0.1	1.2	0.2	-0.8	-4.0	1.7	2.0	55.8	
民間最終消費支出 (前年度比、%)	1.8	0.6	0.7	-2.1	0.7	1.3	0.6	1.7	2.9	-2.6	0.7	-0.3	1.0	0.1	-0.9	-4.8	1.8	2.7	55.8	
(寄与度、%ポイント)	1.0	0.3	0.4	-1.2	0.4	0.7	0.4	1.0	1.7	-1.5	0.4	-0.2	0.5	0.0	-0.5	-2.6	0.9	1.5	54.4	
家計最終消費支出 (前年度比、%)	1.8	0.6	0.7	-2.2	0.6	1.3	0.4	1.6	3.0	-2.5	0.5	-0.4	1.0	0.3	-1.1	-5.3	2.1	2.8	54.4	
(寄与度、%ポイント)	1.0	0.3	0.4	-1.1	0.3	0.7	0.2	0.9	1.7	-1.4	0.3	-0.2	0.5	0.2	-0.6	-2.8	1.1	1.5	3.8	
民間住宅 (前年度比、%)	0.0	-0.3	-13.3	-2.5	-20.3	4.8	4.4	4.5	8.6	-8.1	3.1	4.3	-1.8	-4.8	2.6	-7.4	0.1	-3.4	3.8	
(寄与度、%ポイント)	0.0	-0.0	-0.6	-0.1	-0.8	0.2	0.2	0.2	0.3	-0.3	0.1	0.2	-0.1	-0.2	0.1	-0.3	0.0	-0.1	17.1	
民間企業設備 (前年度比、%)	7.6	2.3	-0.7	-5.8	-11.4	2.0	4.0	1.5	5.4	2.7	3.4	0.8	2.8	1.6	-1.3	-5.6	1.7	3.4	17.1	
(寄与度、%ポイント)	1.2	0.4	-0.1	-0.9	-1.8	0.3	0.6	0.2	0.8	0.4	0.6	0.1	0.4	0.3	-0.2	-0.9	0.3	0.6	0.6	
民間在庫変動 (寄与度、%ポイント)	-0.2	0.1	0.2	0.0	-1.4	1.2	0.1	-0.3	-0.4	0.3	0.2	-0.2	0.3	0.1	-0.2	-0.2	0.5	0.1	0.6	
公的需要 (前年度比、%)	-1.7	-1.0	0.5	-1.5	4.0	0.1	1.2	1.2	3.2	0.3	1.3	0.6	0.6	0.9	2.1	3.1	1.2	-0.1	26.7	
(寄与度、%ポイント)	-0.4	-0.2	0.1	-0.3	0.9	0.0	0.3	0.3	0.8	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.5	0.8	0.3	-0.0	21.6	
政府最終消費支出 (前年度比、%)	0.4	0.6	1.6	-0.6	2.6	2.3	1.9	1.3	1.8	0.9	2.2	0.9	0.3	1.1	2.1	2.7	3.2	1.4	21.6	
(寄与度、%ポイント)	0.1	0.1	0.3	-0.1	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.2	0.4	0.2	0.1	0.2	0.4	0.5	0.7	0.3	5.2	
公的固定資本形成 (前年度比、%)	-7.9	-6.3	-4.2	-4.2	9.3	-7.2	-2.2	1.1	8.5	-2.3	-1.3	0.5	0.6	0.9	1.6	4.8	-6.5	-6.1	5.2	
(寄与度、%ポイント)	-0.4	-0.3	-0.2	-0.2	0.5	-0.4	-0.1	0.1	0.4	-0.1	-0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	-0.4	-0.3	-0.0	
公的在庫変動 (寄与度、%ポイント)	-0.0	-0.0	0.0	-0.0	0.0	-0.0	0.0	-0.0	0.0	0.0	-0.0	-0.0	0.1	-0.0	0.0	-0.0	0.0	0.0	-0.0	
財貨・サービスの純輸出 (寄与度、%ポイント)	0.5	0.8	1.1	-1.1	0.3	0.9	-0.9	-0.8	-0.5	0.7	0.1	0.7	0.4	-0.2	-0.5	-0.6	0.8	-0.5	-4.1	
財貨・サービスの輸出 (前年度比、%)	9.4	8.7	9.5	-10.2	-9.0	17.9	-1.4	-1.4	4.4	8.9	1.1	3.4	6.3	2.0	-2.3	-9.9	12.4	4.7	21.8	
(寄与度、%ポイント)	1.2	1.2	1.5	-1.8	-1.4	2.4	-0.2	-0.2	0.6	1.4	0.2	0.6	1.0	0.4	-0.4	-1.7	2.0	0.9	21.8	
財貨・サービスの輸入 (前年度比、%)	6.0	3.6	2.5	-4.3	-10.5	12.1	5.2	3.8	7.0	3.9	0.4	-0.5	3.8	3.0	0.2	-6.3	7.1	7.1	25.8	
(寄与度、%ポイント)	-0.7	-0.5	-0.4	0.7	1.7	-1.5	-0.7	-0.6	-1.2	-0.7	-0.1	0.1	-0.6	-0.5	-0.0	1.1	-1.2	-1.4	25.8	

(注) 寄与度は、実質GDP（支出側）成長率に対する寄与度。

図1-1 GDP成長率(名目・実質)

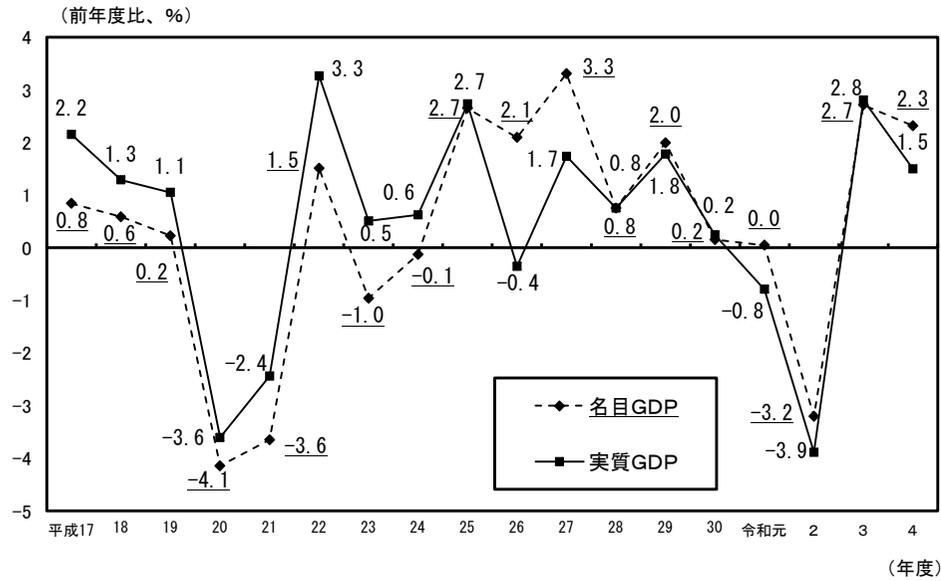


図1-3 実質GDP成長率に対する需要項目別寄与度

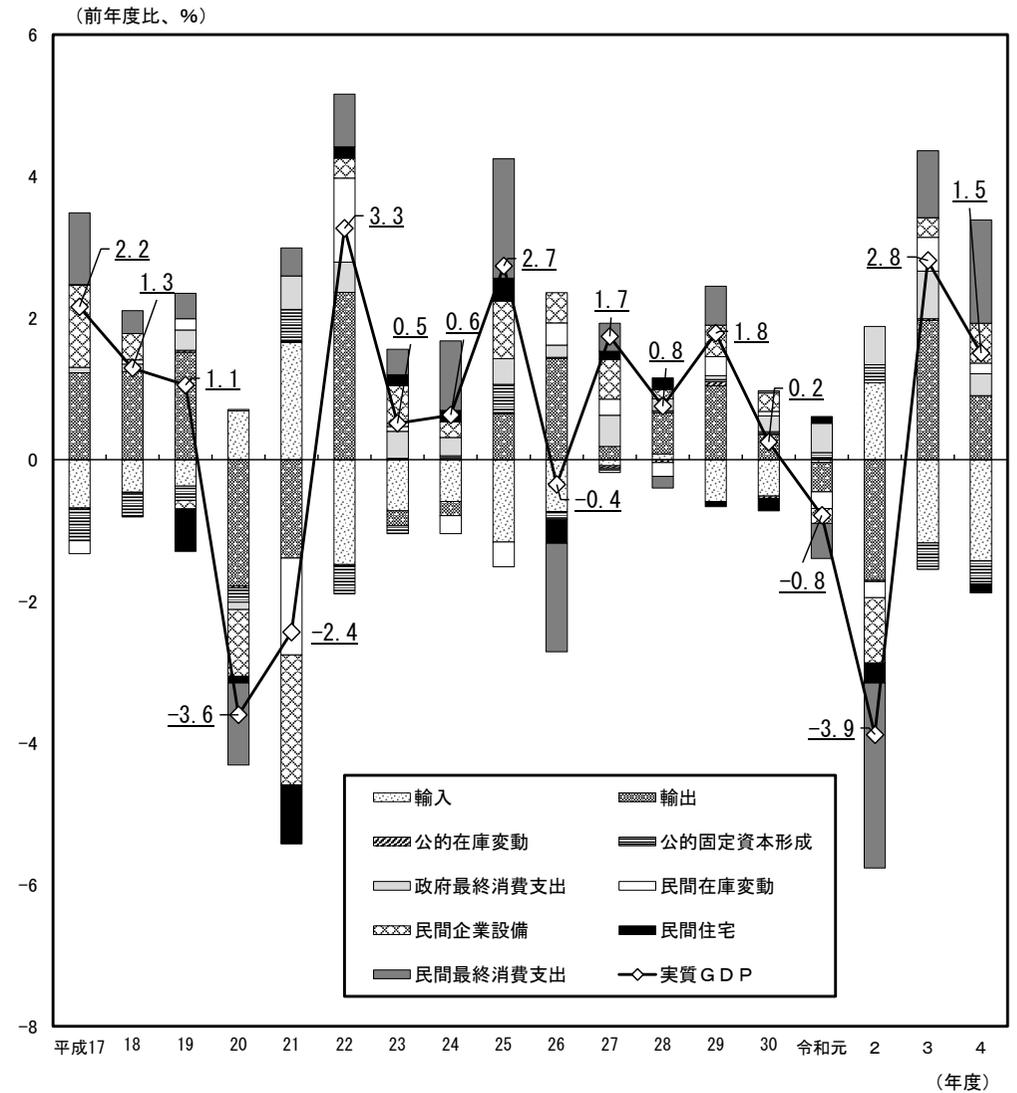
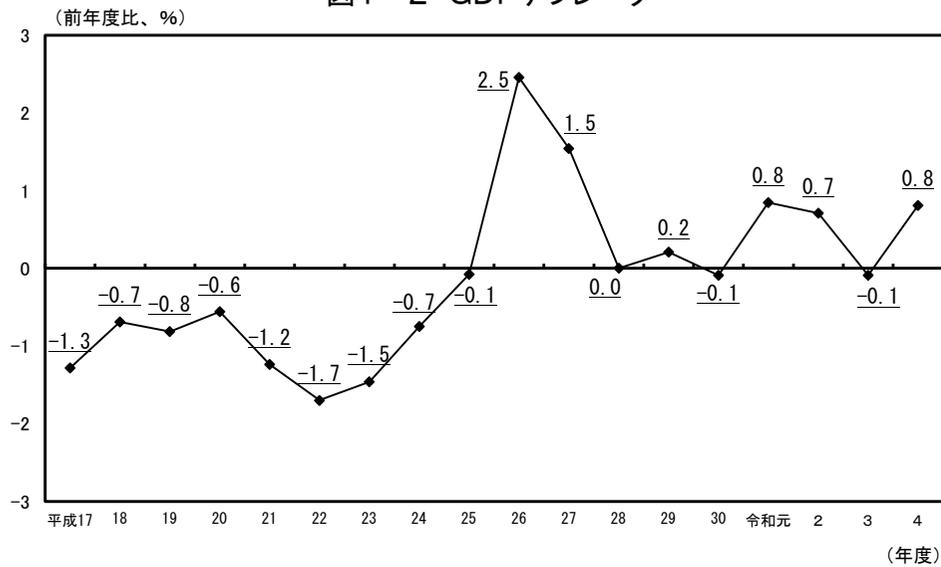


図1-2 GDPデフレーター



2. 所得

(1) 国内総所得（GDI）、国民総所得（GNI）

実質GDPに交易利得・損失（注1）を加えた実質GDIは、令和4年度は交易損失の拡大により、前年度比0.3%減と減少に転じた。また、実質GDIに海外からの所得の純受取（注2）を加えた実質GNIは、前年度比0.4%増（2年連続の増加）となった。

（注1） 交易利得・損失＝交易条件の変化に伴う実質所得（購買力）の変化
 （注2） 海外からの所得の純受取＝海外からの所得の受取－海外に対する所得の支払

		平成	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和	2年度	3年度	4年度
		17年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	元年度	2020	2021	2022
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
実質GNI	(兆円)	539.9	545.4	547.5	520.5	513.9	527.4	524.1	527.4	543.8	544.5	562.5	566.9	574.5	573.1	570.0	552.0	565.0	567.1
	(前年度比、%)	1.6	1.0	0.4	-4.9	-1.3	2.6	-0.6	0.6	3.1	0.1	3.3	0.8	1.3	-0.2	-0.5	-3.2	2.4	0.4
実質GDI	(兆円)	527.1	530.4	531.1	507.9	501.0	513.4	509.7	512.7	525.2	524.5	541.3	547.6	554.1	551.5	548.3	532.4	536.8	535.1
	(前年度比、%)	1.1	0.6	0.1	-4.4	-1.4	2.5	-0.7	0.6	2.4	-0.1	3.2	1.2	1.2	-0.5	-0.6	-2.9	0.8	-0.3
	(寄与度、%ポイント)	1.1	0.6	0.1	-4.2	-1.3	2.4	-0.7	0.6	2.4	-0.1	3.1	1.1	1.1	-0.5	-0.6	-2.8	0.8	-0.3
実質GDP	(兆円)	515.1	521.8	527.3	508.3	495.9	512.1	514.7	517.9	532.1	530.2	539.4	543.5	553.2	554.5	550.2	528.8	543.6	551.8
	(前年度比、%)	2.2	1.3	1.1	-3.6	-2.4	3.3	0.5	0.6	2.7	-0.4	1.7	0.8	1.8	0.2	-0.8	-3.9	2.8	1.5
	(寄与度、%ポイント)	2.0	1.2	1.0	-3.5	-2.4	3.2	0.5	0.6	2.7	-0.3	1.7	0.7	1.7	0.2	-0.8	-3.7	2.7	1.4
交易利得・損失	(兆円)	12.0	8.6	3.8	-0.3	5.1	1.3	-5.0	-5.2	-6.8	-5.7	1.9	4.1	1.0	-3.0	-1.8	3.6	-6.8	-16.7
	(寄与度、%ポイント)	-0.9	-0.6	-0.9	-0.8	1.0	-0.7	-1.2	-0.0	-0.3	0.2	1.4	0.4	-0.6	-0.7	0.2	0.9	-1.9	-1.8
海外からの所得の純受取	(兆円)	12.8	15.0	16.4	12.5	12.9	14.1	14.5	14.7	18.6	20.0	21.2	19.3	20.3	21.6	21.6	19.6	28.2	32.1
	(寄与度、%ポイント)	0.4	0.4	0.3	-0.7	0.1	0.2	0.1	0.0	0.7	0.3	0.2	-0.3	0.2	0.2	0.0	-0.4	1.5	0.7

(注) 寄与度は、実質GNI成長率に対する寄与度。実質の実額は2015暦年連鎖価格。

		平成	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和	2年度	3年度	4年度
		17年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	元年度	2020	2021	2022
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
名目GNI	(兆円)	547.0	552.3	555.1	528.9	510.2	518.7	514.2	513.7	530.8	543.4	561.9	564.0	576.0	578.3	578.7	558.8	582.6	600.6
	(前年度比、%)	1.3	1.0	0.5	-4.7	-3.5	1.7	-0.9	-0.1	3.3	2.4	3.4	0.4	2.1	0.4	0.1	-3.4	4.3	3.1
名目GDP	(兆円)	534.1	537.3	538.5	516.2	497.4	504.9	500.0	499.4	512.7	523.4	540.7	544.8	555.7	556.6	556.8	539.0	553.6	566.5
海外からの所得の純受取	(兆円)	12.9	15.1	16.6	12.7	12.8	13.8	14.1	14.3	18.1	19.9	21.2	19.2	20.3	21.7	21.9	19.8	29.0	34.1

図2-1 GNI、GDI、GDP成長率(実質)

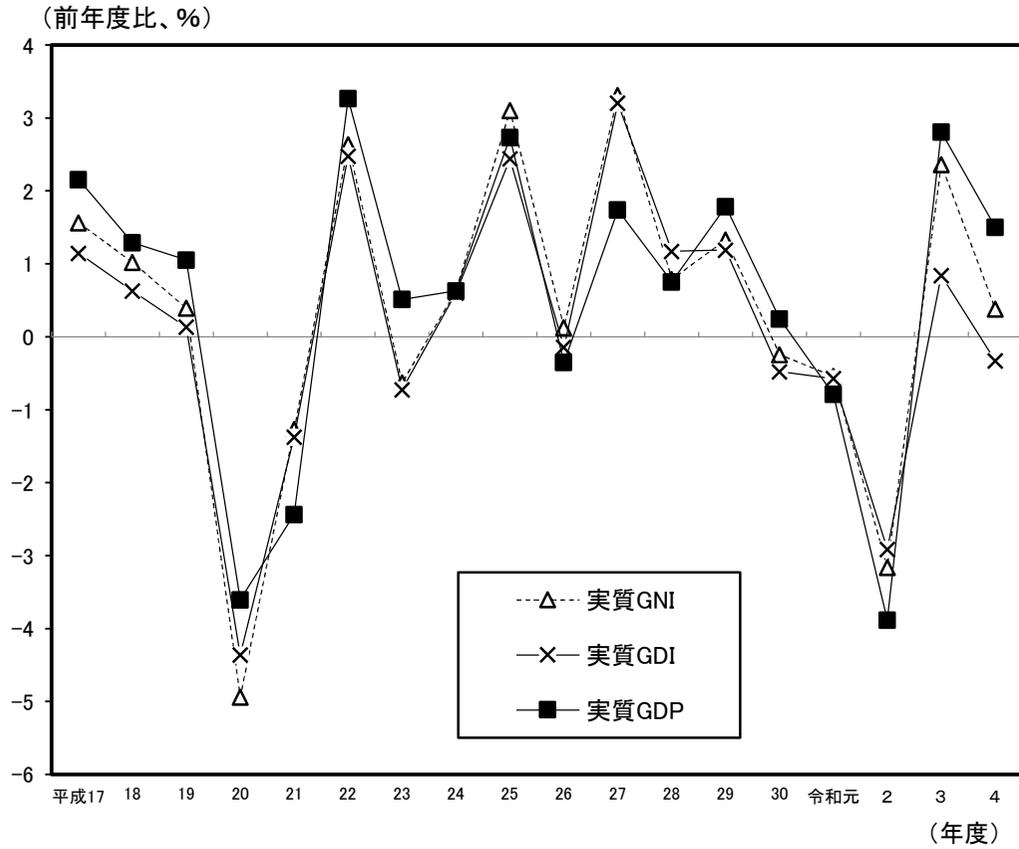
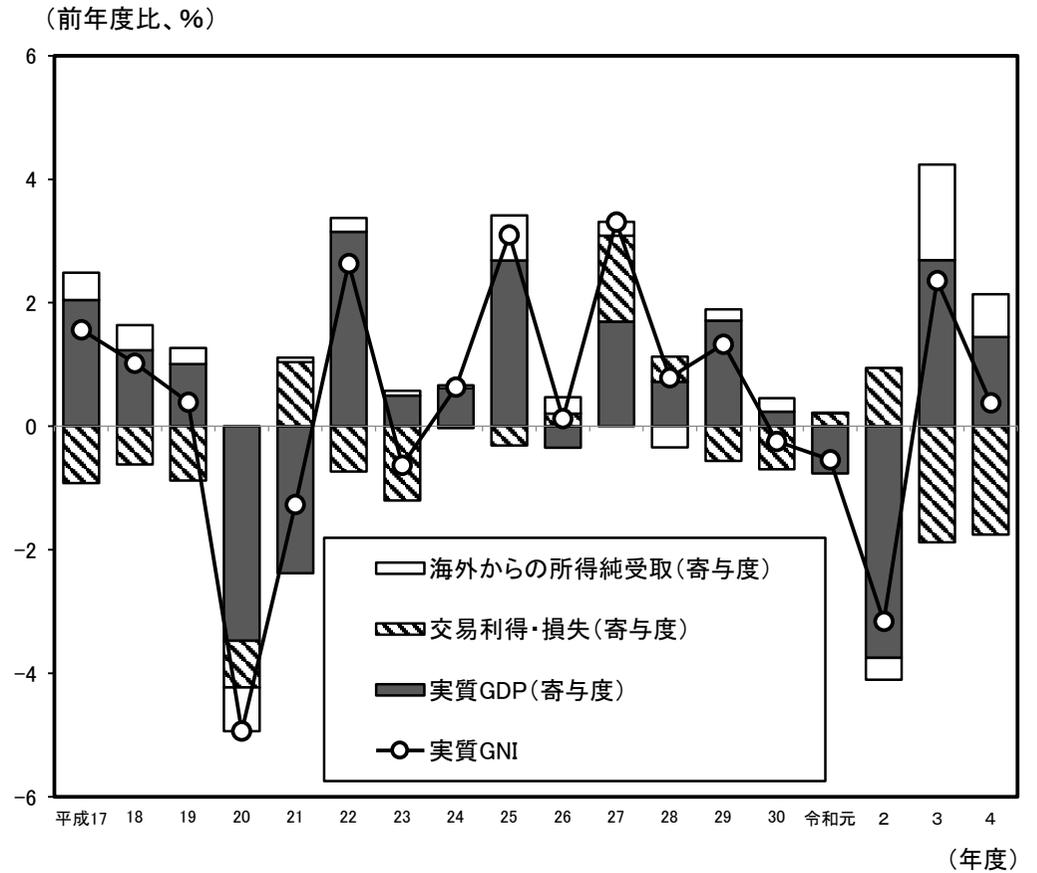


図2-2 実質GNI成長率の要因別寄与度



(2) 国民所得

令和4年度の国民所得（要素費用表示）（注）は前年度比3.3%増となり2年連続のプラスとなった。内訳についてみると、雇用者報酬が前年度比2.4%増と2年連続のプラス、財産所得が前年度比12.1%増と3年連続のプラス、企業所得が前年度比3.9%増と2年連続のプラスとなった。
 労働分配率（国民所得に占める雇用者報酬の比率）は72.5%となり2年連続で低下した。

（注）国民所得（要素費用表示）は名目。

	平成 17年度 2005	18年度 2006	19年度 2007	20年度 2008	21年度 2009	22年度 2010	23年度 2011	24年度 2012	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	28年度 2016	29年度 2017	30年度 2018	令和	2年度 2020	3年度 2021	4年度 2022
															元年度 2019			
国民所得（要素費用表示） （兆円）	388.1	395.0	394.8	364.4	352.7	364.7	357.5	358.2	372.6	376.7	392.6	392.3	400.6	403.1	402.5	376.0	395.8	409.0
（前年度比、%）	-0.1	1.8	-0.0	-7.7	-3.2	3.4	-2.0	0.2	4.0	1.1	4.2	-0.1	2.1	0.6	-0.2	-6.6	5.3	3.3
雇用者報酬 （兆円）	261.6	265.8	267.3	265.5	252.7	251.2	252.0	251.4	253.7	258.4	262.0	268.3	273.7	282.4	288.0	283.5	289.6	296.4
（前年度比、%）	2.0	1.6	0.6	-0.7	-4.8	-0.6	0.3	-0.2	0.9	1.9	1.4	2.4	2.0	3.2	2.0	-1.5	2.1	2.4
（寄与度、%ポイント）	1.3	1.1	0.4	-0.4	-3.5	-0.4	0.2	-0.2	0.6	1.3	0.9	1.6	1.4	2.2	1.4	-1.1	1.6	1.7
（構成比、%） = 労働分配率	67.4	67.3	67.7	72.9	71.6	68.9	70.5	70.2	68.1	68.6	66.7	68.4	68.3	70.1	71.6	75.4	73.2	72.5
財産所得 （兆円）	22.0	26.1	26.6	23.4	21.7	20.8	20.9	21.5	22.4	22.6	24.3	23.1	24.8	26.2	25.6	25.7	27.1	30.3
（前年度比、%）	16.3	18.7	1.8	-12.0	-7.5	-4.1	0.6	2.6	4.3	1.1	7.6	-5.1	7.4	5.6	-2.2	0.2	5.3	12.1
（寄与度、%ポイント）	0.8	1.1	0.1	-0.8	-0.5	-0.3	0.0	0.2	0.3	0.1	0.5	-0.3	0.4	0.3	-0.1	0.0	0.4	0.8
（構成比、%）	5.7	6.6	6.7	6.4	6.1	5.7	5.8	6.0	6.0	6.0	6.2	5.9	6.2	6.5	6.4	6.8	6.8	7.4
企業所得 （兆円）	104.4	103.1	100.9	75.4	78.3	92.7	84.6	85.3	96.5	95.6	106.3	100.9	102.1	94.5	88.9	66.8	79.2	82.2
（前年度比、%）	-7.7	-1.3	-2.1	-25.3	3.9	18.4	-8.8	0.8	13.2	-0.9	11.1	-5.0	1.1	-7.5	-5.9	-24.9	18.6	3.9
（寄与度、%ポイント）	-2.3	-0.4	-0.5	-6.5	0.8	4.1	-2.2	0.2	3.1	-0.2	2.8	-1.4	0.3	-1.9	-1.4	-5.5	3.3	0.8
（構成比、%）	26.9	26.1	25.6	20.7	22.2	25.4	23.7	23.8	25.9	25.4	27.1	25.7	25.5	23.4	22.1	17.8	20.0	20.1

（参考）

法人企業所得 （兆円）	84.2	86.6	82.7	54.2	56.6	69.1	64.1	71.1	84.3	90.5	105.5	100.4	104.5	103.4	90.2	74.8	91.5	99.1
（前年度比、%）	-1.4	2.8	-4.5	-34.5	4.4	22.1	-7.3	10.9	18.6	7.4	16.7	-4.8	4.1	-1.1	-12.7	-17.1	22.4	8.3
民間法人企業所得 （兆円）	75.4	78.3	73.7	48.7	51.0	64.6	59.3	66.5	80.0	85.8	101.1	96.2	100.2	99.1	86.6	71.9	88.9	96.3
（前年度比、%）	-2.8	3.9	-5.9	-33.9	4.6	26.8	-8.2	12.2	20.2	7.3	17.8	-4.8	4.1	-1.0	-12.7	-16.9	23.7	8.3

（注1）財産所得は、一般政府、家計（個人企業及び持ち家の支払利子、支払賃貸料を除く）及び対家計民間非営利団体の財産所得の純受取。

企業所得は、民間法人企業、公的企業及び個人企業の営業余剰・混合所得に財産所得の純受取（ただし、個人企業及び持ち家については支払利子、支払賃貸料のみ）を加えたものであり、企業部門の「第1次所得バランス」を指す。

（注2）法人企業所得は、非金融法人企業、金融機関について、営業余剰（純）に財産所得の受取を加え、利子、その他の投資所得、賃貸料の支払を控除したもの。

民間法人企業所得は、民間非金融法人企業、民間金融機関について、営業余剰（純）に財産所得の受取を加え、利子、その他の投資所得、賃貸料の支払を控除したもの。

（注3）寄与度は、国民所得（要素費用表示）伸び率に対する寄与度。

図2-3 国民所得伸び率に対する各要素所得の寄与度

(前年度比、%)

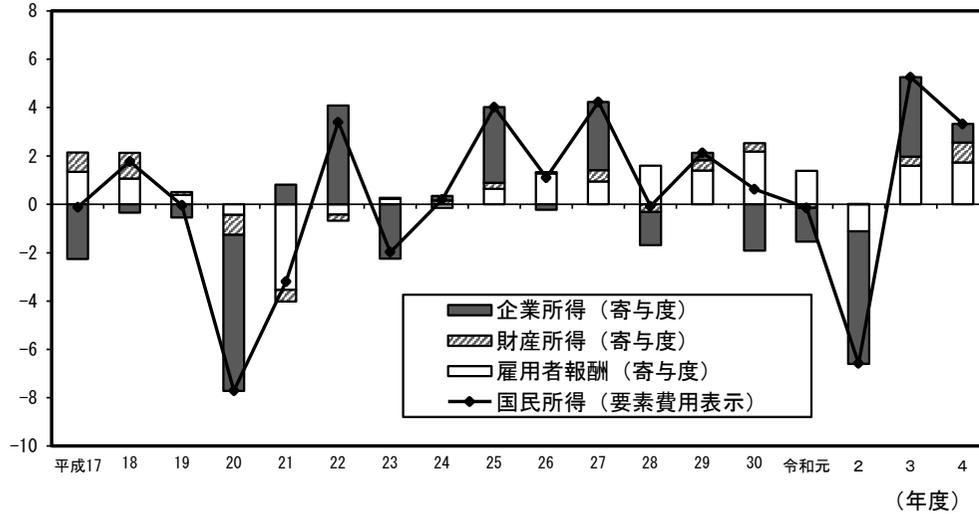
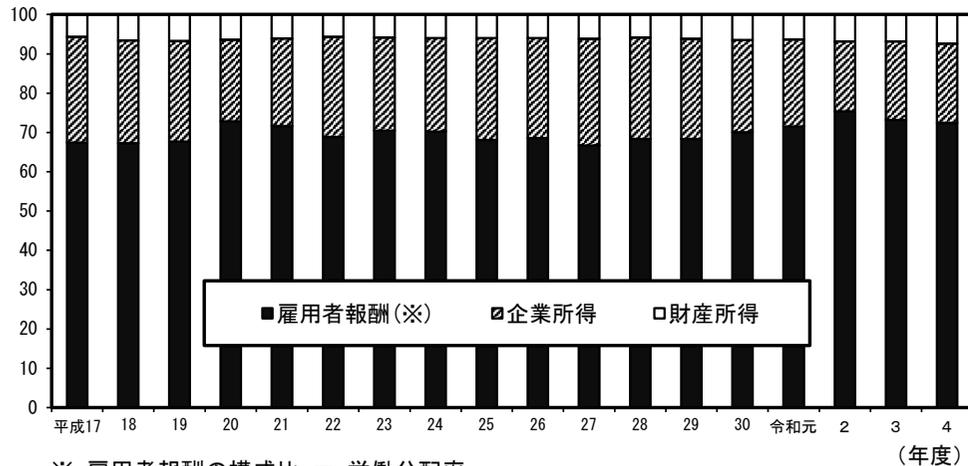


図2-4 国民所得に占める各要素所得の構成

(%)



※ 雇用者報酬の構成比 = 労働分配率

図2-5 労働分配率

(%)

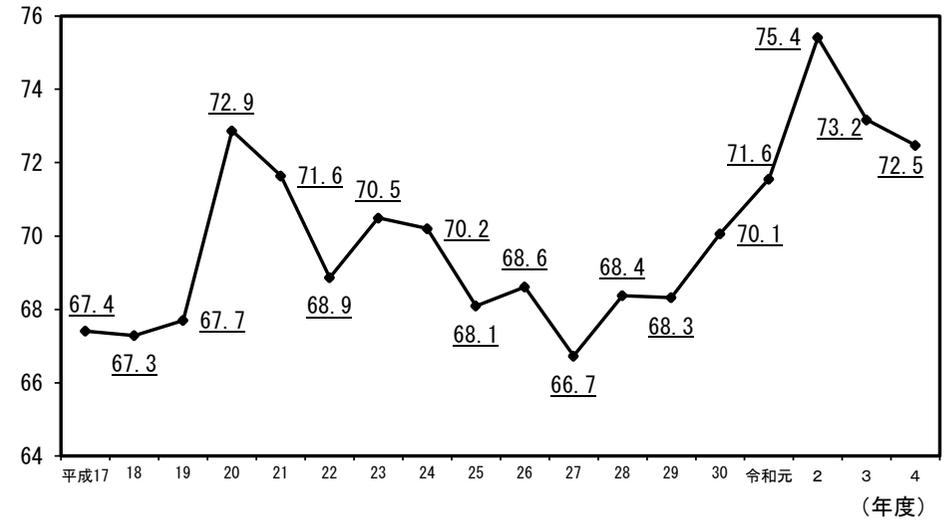
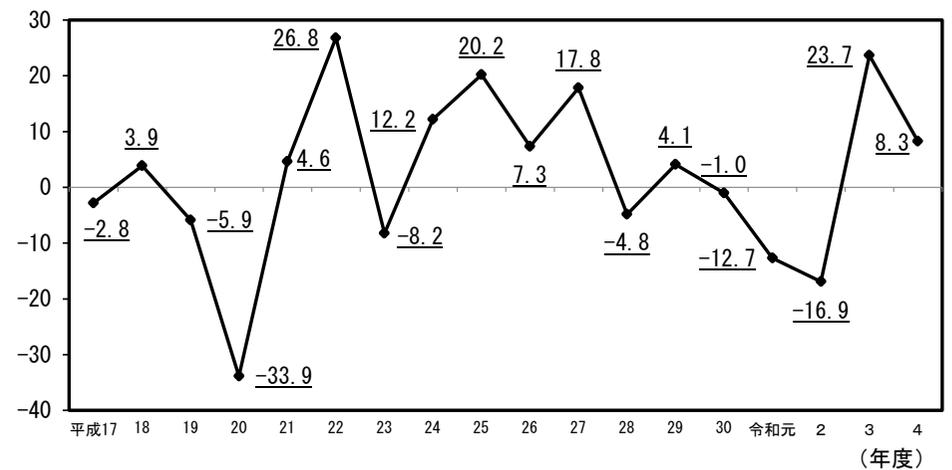


図2-6 民間法人企業所得の伸び率 (参考)

(前年度比、%)



(3) 家計貯蓄

令和4年度の家計貯蓄は、2年連続で減少し、5.5兆円となった。雇用者報酬の増加等により家計可処分所得が増加したものの、家計最終消費支出の増加が家計可処分所得の増加を上回ったため、家計貯蓄は前年度差で14.1兆円の減少となった。
家計貯蓄率も2年連続で低下し、1.7%となった（前年度差4.6%ポイント減）。

家計貯蓄率

		平成	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和	2年度	3年度	4年度
		17年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	元年度	2019	2020	2021
家計貯蓄率 (a / (b+c))	(%)	2.4	3.7	3.2	4.1	4.5	3.6	3.1	1.6	-1.0	-0.8	0.1	1.3	0.8	1.4	3.6	11.8	6.3	1.7
家計最終消費支出	(兆円)	287.2	288.6	290.6	284.9	279.9	280.1	280.4	282.6	291.8	291.2	292.8	290.9	295.6	298.0	296.5	280.9	290.2	307.9
家計貯蓄 (a)	(兆円)	7.2	11.0	9.7	12.2	13.1	10.3	9.1	4.7	-3.0	-2.4	0.4	3.9	2.4	4.3	11.0	37.6	19.6	5.5
年金受給権の変動調整 (受取) (b)	(兆円)	0.3	0.2	0.1	0.2	-0.6	-0.5	-0.8	-1.3	-1.1	-0.6	-0.9	-0.7	-0.4	-0.4	-0.8	-1.0	-1.5	-0.9
家計可処分所得 (c)	(兆円)	294.1	299.5	300.2	296.9	293.6	291.0	290.3	288.6	289.9	289.3	294.2	295.6	298.3	302.7	308.3	319.5	311.3	314.2

(注) 家計貯蓄=家計可処分所得+年金受給権の変動調整(受取)-家計最終消費支出

家計貯蓄率の対前年度差に対する寄与度 (%ポイント)

		平成	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和	2年度	3年度	4年度
		17年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	元年度	2019	2020	2021
家計貯蓄率の対前年度差		0.3	1.2	-0.4	0.9	0.4	-0.9	-0.4	-1.5	-2.7	0.2	1.0	1.2	-0.5	0.6	2.2	8.2	-5.5	-4.6
消費要因		-1.05	-0.49	-0.64	1.88	1.67	-0.06	-0.10	-0.76	-3.22	0.24	-0.58	0.64	-1.56	-0.82	0.49	5.07	-2.91	-5.72
所得要因		1.37	1.72	0.20	-1.03	-1.34	-0.85	-0.32	-0.74	0.54	-0.03	1.54	0.55	1.01	1.43	1.68	3.32	-2.48	1.07
営業余剰(持ち家)・混合所得		-0.52	0.13	-0.24	-0.26	0.07	0.16	-0.59	0.22	0.38	-0.50	0.55	-0.65	-0.16	-0.80	-0.29	-0.93	-0.13	-0.36
雇用者報酬		1.73	1.34	0.48	-0.57	-4.20	-0.50	0.27	-0.18	0.77	1.65	1.23	2.12	1.81	2.86	1.79	-1.35	1.71	2.04
財産所得(純)		0.42	1.06	0.31	-0.76	-0.19	-0.05	0.33	0.21	0.17	-0.18	0.43	-0.24	0.20	0.10	-0.31	0.22	0.41	0.48
現金による社会保障給付、社会扶助給付		0.37	0.32	0.40	0.52	1.09	0.75	0.21	0.06	0.37	0.03	0.30	0.32	0.15	0.12	0.17	0.27	0.93	-0.55
所得・富等に課される経常税		-0.35	-0.43	-0.70	0.26	0.76	0.24	-0.10	-0.30	-0.62	-0.08	-0.24	-0.14	-0.39	-0.27	0.26	-0.14	-0.49	-0.33
純社会負担		-0.45	-0.50	-0.30	-0.30	0.62	-0.70	-0.62	-0.59	-0.58	-0.86	-0.76	-0.73	-0.66	-0.66	-0.46	0.15	-0.61	-0.52
その他の経常移転(純)		0.17	-0.20	0.25	0.08	0.51	-0.75	0.18	-0.15	0.04	-0.09	0.02	-0.13	0.06	0.08	0.51	5.10	-4.30	0.32

(注) 貯蓄率を s 、所得総額を I 、所得項目 i の額を I_i 、消費額を C とすると、貯蓄率の変化要因は下式のように分解される。
上記寄与度分解においては、同式の第1項を消費要因、第2項を所得要因とし、第3項は捨象している。

$$\Delta s = -\frac{1}{I} \Delta C + \frac{C}{I(I+\Delta I)} \sum \Delta I_i + \frac{1}{I(I+\Delta I)} \Delta C \sum \Delta I_i$$

図 2-7 家計貯蓄率

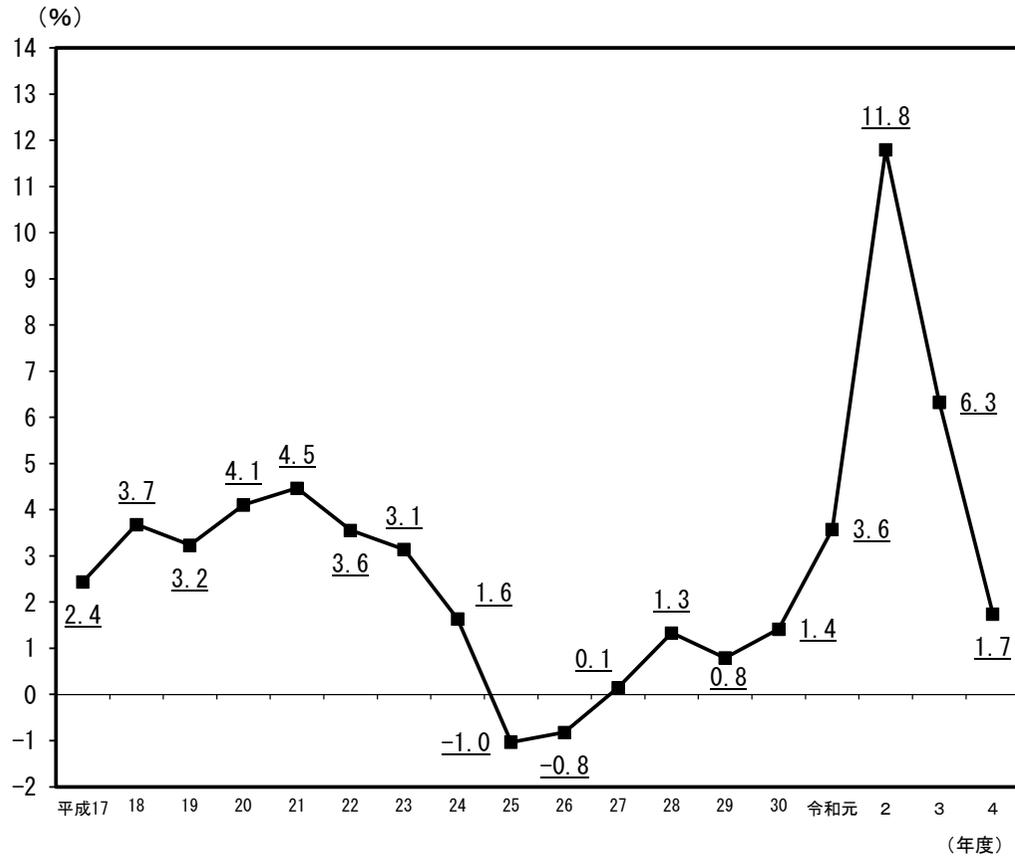
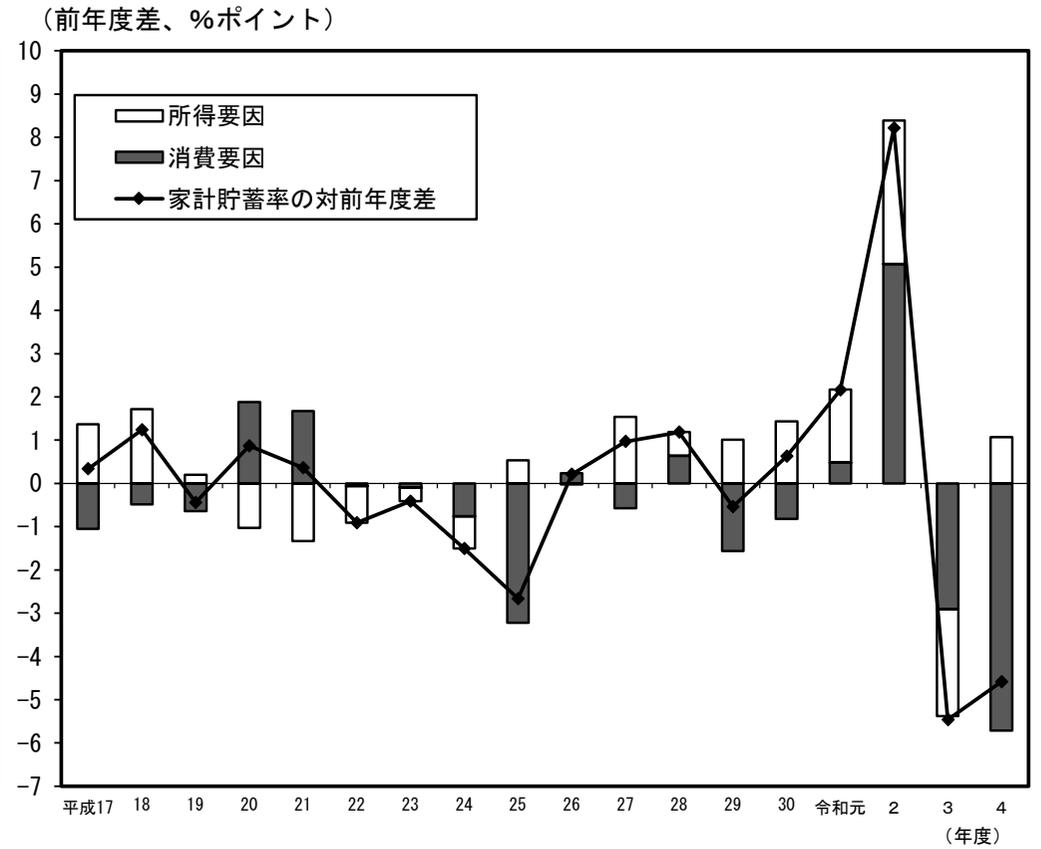


図 2-8 家計貯蓄率前年度差に対する所得・消費要因別寄与度



3. 生産

令和4暦年の経済活動別（産業別）GDPの構成比（名目）をみると、第1次産業のシェアは1.0%と横ばいとなった。第2次産業のシェアは24.7%と低下した。第3次産業のシェアは74.3%と上昇した。

経済活動別GDPの構成比（名目）

(%)

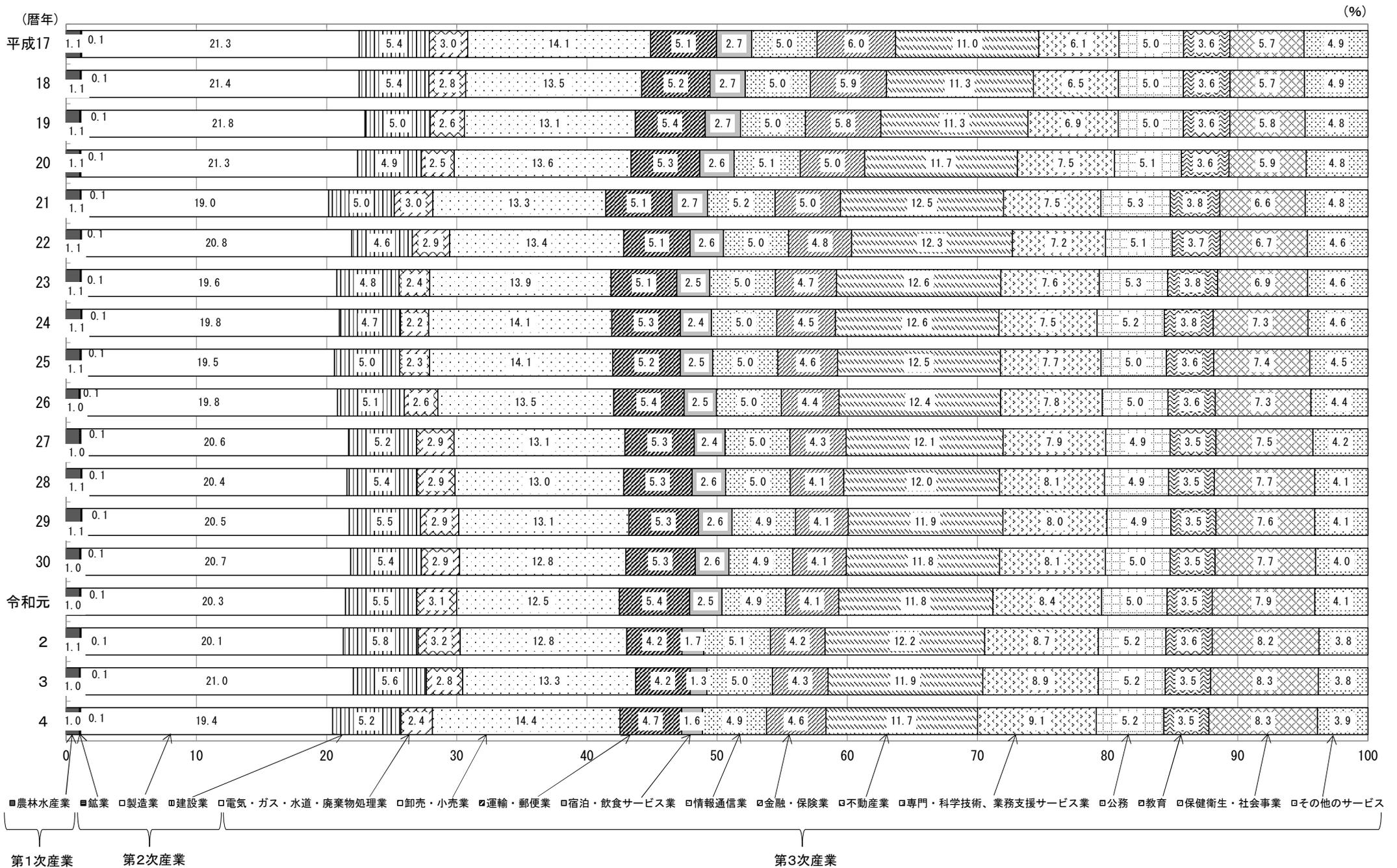
	平成	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和	2	3	4
	17	暦年	元	暦年	暦年	暦年												
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1. 農林水産業	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0
2. 鉱業	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
3. 製造業	21.3	21.4	21.8	21.3	19.0	20.8	19.6	19.8	19.5	19.8	20.6	20.4	20.5	20.7	20.3	20.1	21.0	19.4
4. 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	3.0	2.8	2.6	2.5	3.0	2.9	2.4	2.2	2.3	2.6	2.9	2.9	2.9	2.9	3.1	3.2	2.8	2.4
5. 建設業	5.4	5.4	5.0	4.9	5.0	4.6	4.8	4.7	5.0	5.1	5.2	5.4	5.5	5.4	5.5	5.8	5.6	5.2
6. 卸売・小売業	14.1	13.5	13.1	13.6	13.3	13.4	13.9	14.1	14.1	13.5	13.1	13.0	13.1	12.8	12.5	12.8	13.3	14.4
7. 運輸・郵便業	5.1	5.2	5.4	5.3	5.1	5.1	5.1	5.3	5.2	5.4	5.3	5.3	5.3	5.3	5.4	4.2	4.2	4.7
8. 宿泊・飲食サービス業	2.7	2.7	2.7	2.6	2.7	2.6	2.5	2.4	2.5	2.5	2.4	2.6	2.6	2.6	2.5	1.7	1.3	1.6
9. 情報通信業	5.0	5.0	5.0	5.1	5.2	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.9	4.9	4.9	5.1	5.0	4.9
10. 金融・保険業	6.0	5.9	5.8	5.0	5.0	4.8	4.7	4.5	4.6	4.4	4.3	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.3	4.6
11. 不動産業	11.0	11.3	11.3	11.7	12.5	12.3	12.6	12.6	12.5	12.4	12.1	12.0	11.9	11.8	11.8	12.2	11.9	11.7
12. 専門・科学技術、業務支援サービス業	6.1	6.5	6.9	7.5	7.5	7.2	7.6	7.5	7.7	7.8	7.9	8.1	8.0	8.1	8.4	8.7	8.9	9.1
13. 公務	5.0	5.0	5.0	5.1	5.3	5.1	5.3	5.2	5.0	5.0	4.9	4.9	4.9	5.0	5.0	5.2	5.2	5.2
14. 教育	3.6	3.6	3.6	3.6	3.8	3.7	3.8	3.8	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.6	3.5	3.5
15. 保健衛生・社会事業	5.7	5.7	5.8	5.9	6.6	6.7	6.9	7.3	7.4	7.3	7.5	7.7	7.6	7.7	7.9	8.2	8.3	8.3
16. その他のサービス	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.2	4.1	4.1	4.0	4.1	3.8	3.8	3.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
第1次産業（農林水産業）	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0
第2次産業（鉱業、製造業、建設業）	26.8	26.8	26.9	26.2	24.1	25.5	24.5	24.6	24.5	25.0	25.9	25.8	26.1	26.2	25.9	26.0	26.7	24.7
第3次産業（その他）	72.1	72.1	72.0	72.7	74.8	73.4	74.4	74.3	74.4	74.0	73.1	73.0	72.8	72.7	73.1	73.0	72.3	74.3
市場生産者	88.9	88.8	88.9	88.7	88.3	88.7	88.4	88.5	88.8	88.7	88.9	89.0	89.0	89.0	88.8	88.3	88.5	88.4
一般政府	9.1	9.1	9.0	9.2	9.6	9.2	9.4	9.2	9.0	9.1	8.8	8.8	8.7	8.7	8.8	9.1	9.0	9.1
対家計民間非営利団体	2.0	2.1	2.0	2.0	2.1	2.1	2.2	2.3	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3	2.3	2.4	2.6	2.5	2.5

(注1) 各経済活動には市場生産者のほか、一般政府、対家計民間非営利団体からなる非市場生産者を含む。

(注2) 上記は、経済活動別付加価値の合計（国内総生産（GDP）とは異なる）に対する構成比。

(注3) 不動産業の生産額には、持ち家の帰属家賃（持ち家を賃貸と同様のサービス生産と考えること）を含む。

図3 経済活動別GDP構成比（名目）



4. 純貸出(+)／純借入(-)

(1) 制度部門別純貸出(+)／純借入(-)

令和4年度の制度部門別純貸出(+)／純借入(-)（対名目GDP比）については、一般政府が▲3.6%とマイナス幅が縮小した一方、家計と非金融法人企業がそれぞれ2.4%、0.4%にプラス幅が縮小した。こうしたことにより、一国全体の純貸出／純借入については1.4%、実額で見ても8.1兆円と2年ぶりにプラス幅が縮小した。

(注) 海外部門の数値について、符号を逆転させたものが、一国全体の数値となる。

i) 実額

(兆円)

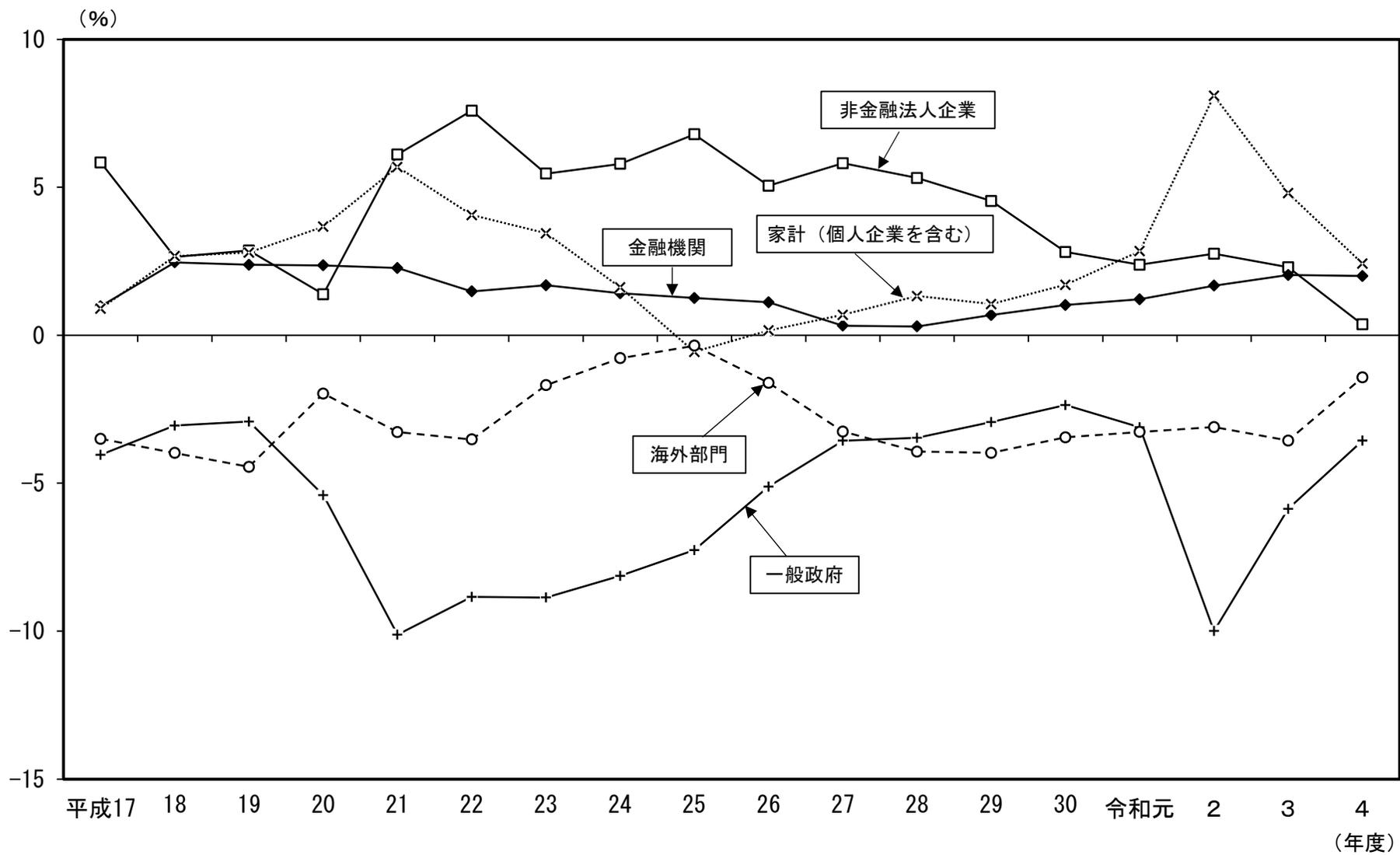
	平成	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和	2年度	3年度	4年度
	17年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
非金融法人企業	31.2	14.2	15.4	7.1	30.4	38.3	27.3	28.9	34.8	26.4	31.4	28.9	25.2	15.6	13.3	14.8	12.7	2.1
金融機関	5.2	13.2	12.8	12.2	11.3	7.5	8.4	7.1	6.5	5.8	1.7	1.6	3.8	5.7	6.8	9.0	11.3	11.3
一般政府	-21.6	-16.4	-15.7	-27.9	-50.3	-44.6	-44.3	-40.6	-37.2	-26.8	-19.3	-18.9	-16.3	-13.1	-17.3	-53.9	-32.5	-20.2
家計	4.8	14.4	15.0	18.9	28.3	20.5	17.2	8.1	-2.9	0.8	3.7	7.2	5.8	9.5	15.8	43.6	26.6	13.7
対家計民間非営利団体	-1.0	-0.3	-0.2	-0.4	-0.9	0.1	-0.8	-0.1	0.0	1.1	1.1	1.7	1.4	2.3	1.5	2.5	2.9	1.8
海外部門	-18.7	-21.4	-24.0	-10.2	-16.3	-17.8	-8.4	-3.9	-1.8	-8.4	-17.6	-21.4	-22.1	-19.2	-18.2	-16.7	-19.7	-8.1

ii) 対名目GDP比

(%)

	平成	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和	2年度	3年度	4年度
	17年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
非金融法人企業	5.8	2.6	2.9	1.4	6.1	7.6	5.5	5.8	6.8	5.0	5.8	5.3	4.5	2.8	2.4	2.7	2.3	0.4
金融機関	1.0	2.5	2.4	2.4	2.3	1.5	1.7	1.4	1.3	1.1	0.3	0.3	0.7	1.0	1.2	1.7	2.0	2.0
一般政府	-4.0	-3.1	-2.9	-5.4	-10.1	-8.8	-8.9	-8.1	-7.3	-5.1	-3.6	-3.5	-2.9	-2.4	-3.1	-10.0	-5.9	-3.6
家計	0.9	2.7	2.8	3.7	5.7	4.1	3.4	1.6	-0.6	0.2	0.7	1.3	1.0	1.7	2.8	8.1	4.8	2.4
対家計民間非営利団体	-0.2	-0.0	-0.0	-0.1	-0.2	0.0	-0.2	-0.0	0.0	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	0.3	0.5	0.5	0.3
海外部門	-3.5	-4.0	-4.4	-2.0	-3.3	-3.5	-1.7	-0.8	-0.4	-1.6	-3.3	-3.9	-4.0	-3.5	-3.3	-3.1	-3.6	-1.4

図4-1 制度部門別の純貸出(+)/純借入(-) (対名目GDP比)



(2) 一般政府のプライマリーバランス

令和4年度の一般政府の財政状況を、純貸出(+)／純借入(-)から利子(FISIM調整前)の受払による増減を控除した、いわゆる「プライマリーバランス」(対名目GDP比)で見ると、中央政府(▲4.7%)はマイナス幅を縮小し、地方政府(1.1%)のプラス幅は拡大となったことにより、一般政府全体では▲3.2%とマイナス幅が縮小した(2年連続のマイナス幅縮小。なお、社会保障基金はプラス幅が拡大した(0.4%))。

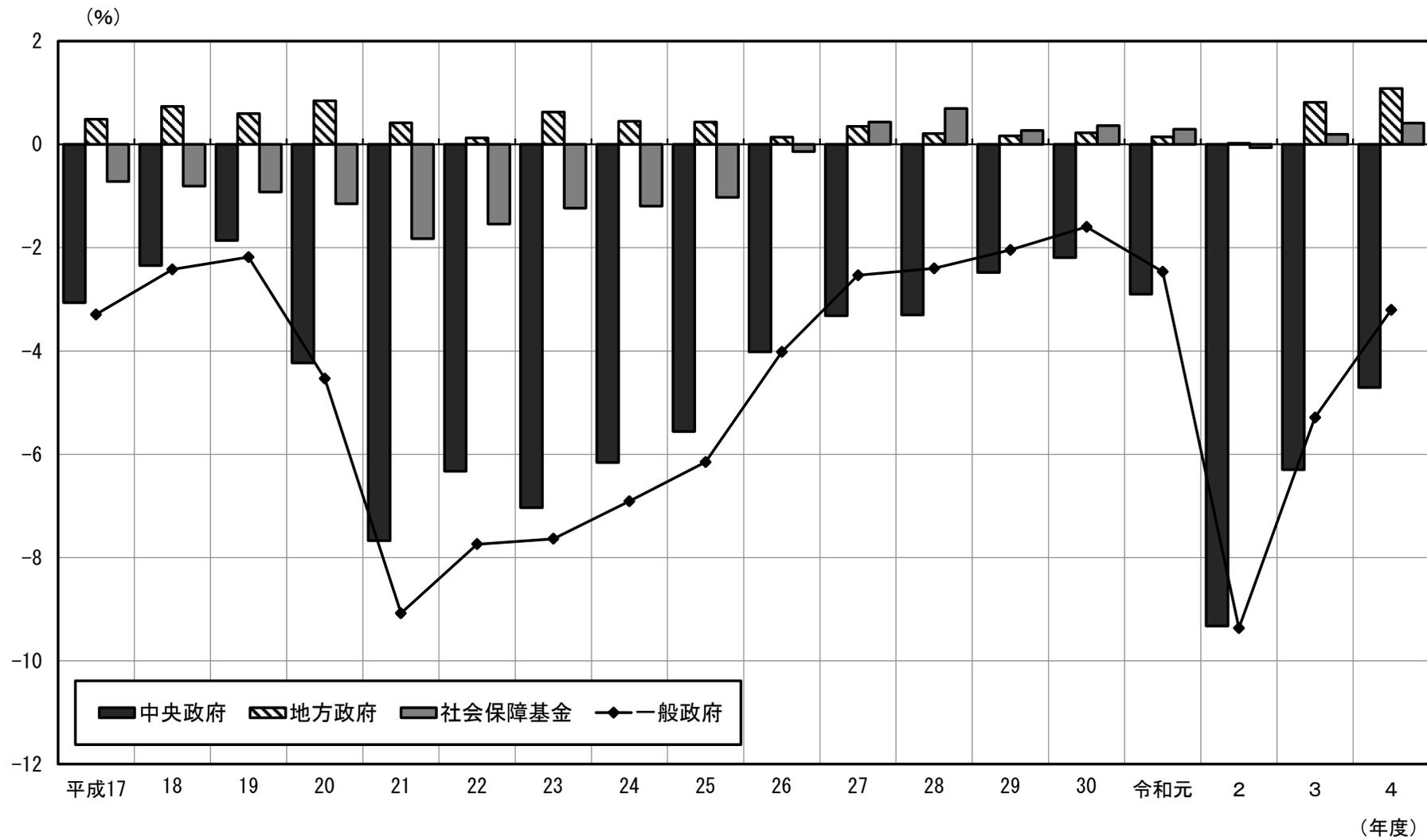
i) 実額 (兆円)

	平成	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和	2年度	3年度	4年度
	17年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	元年度	2020	2021	2022
一般政府	-17.6	-13.0	-11.7	-23.4	-45.1	-39.1	-38.2	-34.5	-31.5	-21.0	-13.7	-13.1	-11.4	-8.9	-13.7	-50.5	-29.3	-18.2
中央政府	-16.4	-12.6	-10.0	-21.8	-38.2	-32.0	-35.2	-30.8	-28.5	-21.0	-17.9	-18.0	-13.8	-12.2	-16.2	-50.3	-34.9	-26.7
地方政府	2.6	3.9	3.2	4.4	2.1	0.6	3.1	2.2	2.2	0.7	1.9	1.1	0.9	1.3	0.8	0.1	4.5	6.2
社会保障基金	-3.8	-4.3	-5.0	-5.9	-9.1	-7.8	-6.2	-6.0	-5.2	-0.7	2.4	3.8	1.5	2.0	1.6	-0.3	1.1	2.4

ii) 対名目GDP比 (%)

	平成	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和	2年度	3年度	4年度
	17年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	元年度	2020	2021	2022
一般政府	-3.3	-2.4	-2.2	-4.5	-9.1	-7.7	-7.6	-6.9	-6.2	-4.0	-2.5	-2.4	-2.0	-1.6	-2.5	-9.4	-5.3	-3.2
中央政府	-3.1	-2.3	-1.9	-4.2	-7.7	-6.3	-7.0	-6.2	-5.6	-4.0	-3.3	-3.3	-2.5	-2.2	-2.9	-9.3	-6.3	-4.7
地方政府	0.5	0.7	0.6	0.8	0.4	0.1	0.6	0.4	0.4	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.8	1.1
社会保障基金	-0.7	-0.8	-0.9	-1.1	-1.8	-1.5	-1.2	-1.2	-1.0	-0.1	0.4	0.7	0.3	0.4	0.3	-0.1	0.2	0.4

図4-2 一般政府のプライマリーバランス（対名目GDP比）



5. 一人当たり名目GDP、名目GNI、国民所得、実質GDP

令和4年度は、一人当たりの名目GDPが453.5万円となり、前年度より12.4万円増加（2年連続の増加）、一人当たりの名目GNIが480.7万円となり、前年度より16.5万円増加（2年連続の増加）、一人当たりの国民所得（要素費用表示）が327.4万円となり、前年度より12.0万円増加（2年連続の増加）、一人当たりの実質GDPが441.7万円となり、前年度より8.6万円増加（2年連続の増加）となった。

年 度	一人当たり名目GDP		一人当たり名目GNI		一人当たり国民所得		一人当たり実質GDP		(参考) 総人口	
	実額 (千円)	前年度比 (%)	実額 (千円)	前年度比 (%)	実額 (千円)	前年度比 (%)	実額 (千円)	前年度比 (%)	実数 (千人)	前年度比 (%)
平成 17 (2005)	4,181	0.8	4,281	1.3	3,038	-0.1	4,032	2.1	127,761	0.0
18 (2006)	4,201	0.5	4,319	0.9	3,089	1.7	4,080	1.2	127,876	0.1
19 (2007)	4,207	0.1	4,336	0.4	3,084	-0.1	4,119	1.0	128,002	0.1
20 (2008)	4,031	-4.2	4,130	-4.8	2,845	-7.7	3,969	-3.6	128,053	0.0
21 (2009)	3,885	-3.6	3,985	-3.5	2,755	-3.2	3,873	-2.4	128,031	-0.0
22 (2010)	3,943	1.5	4,051	1.7	2,848	3.4	3,999	3.3	128,033	0.0
23 (2011)	3,914	-0.8	4,024	-0.7	2,798	-1.8	4,028	0.7	127,771	-0.2
24 (2012)	3,915	0.0	4,027	0.1	2,808	0.3	4,060	0.8	127,571	-0.2
25 (2013)	4,024	2.8	4,167	3.5	2,925	4.2	4,177	2.9	127,393	-0.1
26 (2014)	4,114	2.2	4,271	2.5	2,961	1.2	4,168	-0.2	127,217	-0.1
27 (2015)	4,255	3.4	4,421	3.5	3,089	4.3	4,244	1.8	127,086	-0.1
28 (2016)	4,290	0.8	4,440	0.4	3,089	-0.0	4,279	0.8	127,012	-0.1
29 (2017)	4,379	2.1	4,539	2.2	3,157	2.2	4,359	1.9	126,896	-0.1
30 (2018)	4,392	0.3	4,563	0.5	3,181	0.8	4,376	0.4	126,727	-0.1
令和 元 (2019)	4,401	0.2	4,574	0.2	3,181	0.0	4,348	-0.6	126,525	-0.2
2 (2020)	4,272	-2.9	4,429	-3.2	2,980	-6.3	4,191	-3.6	126,161	-0.3
3 (2021)	4,411	3.2	4,642	4.8	3,153	5.8	4,331	3.3	125,513	-0.5
4 (2022)	4,535	2.8	4,807	3.6	3,274	3.8	4,417	2.0	124,925	-0.5

(出所) 総人口：総務省「人口推計月報」月初人口の単純平均。

(注) 一人当たり名目GDP、一人当たり名目GNI、一人当たり国民所得、一人当たり実質GDPは、それぞれ名目国内総生産、国民総所得、国民所得、実質国内総生産の年度値を各月初人口の年度平均で割ったもの。実質GDPは、2015暦年連鎖価格。

6. GDPの国際比較

(1) 主要国の名目GDP

我が国の名目GDPは、令和4（2022）暦年には4兆2,601億ドルとなり、世界のGDPに占める比率は4.2%となった。

	平成 17暦年 (2005)	平成 18暦年 (2006)	平成 19暦年 (2007)	平成 20暦年 (2008)	平成 21暦年 (2009)	平成 22暦年 (2010)	平成 23暦年 (2011)	平成 24暦年 (2012)	平成 25暦年 (2013)	平成 26暦年 (2014)	平成 27暦年 (2015)	平成 28暦年 (2016)	平成 29暦年 (2017)	平成 30暦年 (2018)	令和 元暦年 (2019)	令和 2暦年 (2020)	令和 3暦年 (2021)	令和 4暦年 (2022)
アメリカ（10億ドル） （世界に占める比率、%）	13,039.2 27.2	13,815.6 26.6	14,474.2 24.7	14,769.9 23.0	14,478.1 23.7	15,049.0 22.5	15,599.7 21.0	16,254.0 21.5	16,843.2 21.7	17,550.7 22.0	18,206.0 24.2	18,695.1 24.4	19,477.3 23.9	20,533.1 23.7	21,381.0 24.4	21,060.5 24.7	23,315.1 23.9	25,439.7 25.1
中国（10億ドル） （世界に占める比率、%）	2,286.0 4.8	2,752.1 5.3	3,550.3 6.1	4,594.3 7.2	5,101.7 8.4	6,087.2 9.1	7,551.5 10.2	8,532.2 11.3	9,570.5 12.3	10,475.6 13.1	11,061.6 14.7	11,233.3 14.7	12,310.5 15.1	13,894.9 16.1	14,280.0 16.3	14,687.7 17.2	17,820.5 18.2	17,963.2 17.7
日本（10億ドル） （世界に占める比率、%）	4,834.2 10.1	4,601.4 8.9	4,579.6 7.8	5,106.3 8.0	5,291.3 8.7	5,759.2 8.6	6,232.8 8.4	6,271.0 8.3	5,210.7 6.7	4,901.4 6.1	4,445.4 5.9	5,001.7 6.5	4,931.3 6.0	5,042.5 5.8	5,117.9 5.8	5,055.1 5.9	5,032.8 5.1	4,260.1 4.2
ドイツ（10億ドル） （世界に占める比率、%）	2,846.9 5.9	2,994.7 5.8	3,425.6 5.8	3,745.3 5.8	3,411.3 5.6	3,399.7 5.1	3,749.3 5.1	3,527.1 4.7	3,733.8 4.8	3,889.1 4.9	3,357.6 4.5	3,469.9 4.5	3,690.8 4.5	3,974.4 4.6	3,889.2 4.4	3,887.7 4.6	4,278.5 4.4	4,082.5 4.0
インド（10億ドル） （世界に占める比率、%）	820.4 1.7	940.3 1.8	1,216.7 2.1	1,198.9 1.9	1,341.9 2.2	1,675.6 2.5	1,823.1 2.5	1,827.6 2.4	1,856.7 2.4	2,039.1 2.6	2,103.6 2.8	2,294.8 3.0	2,651.5 3.3	2,702.9 3.1	2,835.6 3.2	2,671.6 3.1	3,150.3 3.2	3,416.6 3.4
イギリス（10億ドル） （世界に占める比率、%）	2,543.2 5.3	2,708.5 5.2	3,090.7 5.3	2,929.6 4.6	2,412.8 4.0	2,485.5 3.7	2,663.8 3.6	2,707.1 3.6	2,784.9 3.6	3,064.7 3.8	2,927.9 3.9	2,689.1 3.5	2,680.2 3.3	2,871.5 3.3	2,851.4 3.2	2,697.8 3.2	3,141.5 3.2	3,089.1 3.0
フランス（10億ドル） （世界に占める比率、%）	2,196.9 4.6	2,320.5 4.5	2,660.6 4.5	2,930.3 4.6	2,700.9 4.4	2,645.2 4.0	2,865.2 3.9	2,683.7 3.5	2,811.9 3.6	2,856.0 3.6	2,439.2 3.2	2,473.0 3.2	2,595.2 3.2	2,791.0 3.2	2,728.9 3.1	2,647.4 3.1	2,959.4 3.0	2,779.1 2.7
ロシア（10億ドル） （世界に占める比率、%）	764.0 1.6	989.9 1.9	1,299.7 2.2	1,660.8 2.6	1,222.6 2.0	1,524.9 2.3	2,045.9 2.8	2,208.3 2.9	2,292.5 3.0	2,059.2 2.6	1,363.5 1.8	1,276.8 1.7	1,574.2 1.9	1,657.3 1.9	1,693.1 1.9	1,493.1 1.7	1,836.9 1.9	2,240.4 2.2
カナダ（10億ドル） （世界に占める比率、%）	1,173.5 2.4	1,319.4 2.5	1,468.9 2.5	1,552.9 2.4	1,376.5 2.3	1,617.3 2.4	1,793.3 2.4	1,828.4 2.4	1,846.6 2.4	1,805.8 2.3	1,556.5 2.1	1,528.0 2.0	1,649.3 2.0	1,725.3 2.0	1,743.7 2.0	1,647.6 1.9	2,001.5 2.0	2,137.9 2.1
イタリア（10億ドル） （世界に占める比率、%）	1,858.2 3.9	1,949.6 3.8	2,213.1 3.8	2,408.7 3.8	2,199.9 3.6	2,136.1 3.2	2,295.0 3.1	2,087.0 2.8	2,141.9 2.8	2,162.0 2.7	1,836.6 2.4	1,877.1 2.4	1,961.8 2.4	2,091.9 2.4	2,011.3 2.3	1,897.5 2.2	2,155.4 2.2	2,049.7 2.0
ブラジル（10億ドル） （世界に占める比率、%）	891.6 1.9	1,107.6 2.1	1,397.1 2.4	1,695.9 2.6	1,667.0 2.7	2,208.8 3.3	2,616.2 3.5	2,465.2 3.3	2,472.8 3.2	2,456.0 3.1	1,802.2 2.4	1,795.7 2.3	2,063.5 2.5	1,916.9 2.2	1,873.3 2.1	1,476.1 1.7	1,649.6 1.7	1,920.1 1.9
韓国（10億ドル） （世界に占める比率、%）	934.7 2.0	1,052.6 2.0	1,172.5 2.0	1,049.2 1.6	943.7 1.5	1,143.7 1.7	1,253.3 1.7	1,278.0 1.7	1,370.6 1.8	1,484.5 1.9	1,466.0 2.0	1,499.7 2.0	1,623.1 2.0	1,725.4 2.0	1,651.4 1.9	1,644.3 1.9	1,818.4 1.9	1,673.9 1.7
世界全体（10億ドル）	47,916.1	51,920.0	58,569.4	64,226.8	60,978.0	66,860.3	74,115.0	75,656.2	77,679.8	79,837.2	75,177.7	76,616.2	81,570.7	86,569.2	87,758.2	85,369.3	97,748.9	101,432.1

(資料出所) 日本以外のOECD加盟国（上記のうち日本、中国、ロシア、ブラジル、インド以外の各国）：OECD“Annual National Accounts Database”（令和5年12月現在）

日本：経済社会総合研究所推計値

（円の対米ドルレートは、東京市場インターバンク直物中心相場の各月中平均値の12か月単純平均値を利用。）

中国：中国統計年鑑2022（為替レートはIMF“International Financial Statistics”）

ロシア、ブラジル、インド：世界銀行“World Development Indicators Database”

世界全体：日本除くOECD加盟37か国はOECD“Annual National Accounts Database”、日本及び中国は上記資料、その他の国は世界銀行“World Development Indicators Database”より作成。

(注) 中国は香港及びマカオを含まない

(参考) 2021（令和3）暦年における、円の対米ドルレートは109.8（円／ドル）（東京市場インターバンク直物中心相場の各月中平均値の12か月単純平均値）

2022（令和4）暦年における、円の対米ドルレートは131.4（円／ドル）（同上）

(2) 主要国の一人当たり名目GDP

我が国の一人当たりの名目GDPは、令和4（2022）暦年には3万4,064ドルとなり、OECD加盟国の中で第21位となった。

	平成 17暦年 (2005)	平成 18暦年 (2006)	平成 19暦年 (2007)	平成 20暦年 (2008)	平成 21暦年 (2009)	平成 22暦年 (2010)	平成 23暦年 (2011)	平成 24暦年 (2012)	平成 25暦年 (2013)	平成 26暦年 (2014)	平成 27暦年 (2015)	平成 28暦年 (2016)	平成 29暦年 (2017)	平成 30暦年 (2018)	令和 元暦年 (2019)	令和 2暦年 (2020)	令和 3暦年 (2021)	令和 4暦年 (2022)
アメリカ（ドル） (OECD加盟国中の順位)	44,052 7位	46,234 8位	47,976 11位	48,498 12位	47,123 9位	48,570 9位	49,952 12位	51,645 8位	53,117 7位	54,914 8位	56,521 5位	57,593 6位	59,589 6位	62,450 6位	64,690 6位	63,481 5位	70,181 5位	76,291 5位
カナダ（ドル） (OECD加盟国中の順位)	36,395 16位	40,507 13位	44,662 14位	46,707 15位	40,932 17位	47,562 10位	52,224 9位	52,669 7位	52,635 8位	50,956 12位	43,596 13位	42,316 13位	45,129 13位	46,548 15位	46,374 15位	43,350 16位	52,359 13位	54,918 12位
ドイツ（ドル） (OECD加盟国中の順位)	35,001 17位	36,893 16位	42,295 16位	46,373 16位	42,385 13位	42,346 16位	46,706 16位	43,856 16位	46,299 15位	48,024 14位	41,103 15位	42,136 14位	44,653 14位	47,939 13位	46,805 13位	46,749 13位	51,427 16位	48,718 16位
イギリス（ドル） (OECD加盟国中の順位)	42,097 9位	44,528 10位	50,403 9位	47,386 14位	38,752 18位	39,603 18位	42,092 18位	42,494 17位	43,441 16位	47,444 16位	44,969 11位	40,963 16位	40,585 18位	43,223 16位	42,688 17位	40,217 18位	46,870 18位	45,568 18位
フランス（ドル） (OECD加盟国中の順位)	34,779 18位	36,481 17位	41,570 17位	45,529 17位	41,750 14位	40,688 17位	43,857 17位	40,878 18位	42,610 18位	43,069 18位	36,635 18位	37,003 20位	38,666 20位	41,379 19位	40,275 20位	38,931 20位	43,369 19位	40,592 19位
イタリア（ドル） (OECD加盟国中の順位)	31,946 19位	33,383 19位	37,666 18位	40,679 18位	36,939 19位	35,709 19位	38,233 20位	34,672 20位	35,514 21位	35,842 21位	30,494 21位	31,225 21位	32,695 21位	34,937 21位	33,674 21位	31,923 21位	36,449 21位	34,733 20位
日本（ドル） (OECD加盟国中の順位)	37,839 13位	35,994 18位	35,784 19位	39,879 19位	41,327 15位	44,979 13位	48,751 13位	49,139 10位	40,888 19位	38,514 19位	34,973 20位	39,372 18位	38,852 19位	39,776 20位	40,431 19位	40,038 19位	40,034 20位	34,064 21位
韓国（ドル） (OECD加盟国中の順位)	19,398 24位	21,731 24位	24,083 24位	21,388 27位	19,139 27位	23,079 25位	25,097 25位	25,459 23位	27,179 23位	29,253 23位	28,737 22位	29,280 22位	31,601 22位	33,447 22位	31,902 22位	31,721 22位	35,142 22位	32,423 22位
ロシア（ドル） (OECD加盟国中の順位)	5,323 —	6,920 —	9,101 —	11,635 —	8,563 —	10,675 —	14,311 —	15,421 —	15,975 —	14,096 —	9,313 —	8,705 —	10,720 —	11,287 —	11,536 —	10,194 —	12,532 —	15,271 —
中国（ドル） (OECD加盟国中の順位)	1,753 —	2,099 —	2,694 —	3,468 —	3,832 —	4,550 —	5,614 —	6,301 —	7,020 —	7,636 —	8,016 —	8,094 —	8,817 —	9,905 —	10,144 —	10,409 —	12,618 —	12,720 —
ブラジル（ドル） (OECD加盟国中の順位)	4,773 —	5,866 —	7,323 —	8,802 —	8,570 —	11,249 —	13,201 —	12,328 —	12,259 —	12,071 —	8,783 —	8,681 —	9,897 —	9,121 —	8,845 —	6,924 —	7,697 —	8,918 —
インド（ドル） (OECD加盟国中の順位)	711 —	802 —	1,023 —	994 —	1,097 —	1,351 —	1,450 —	1,434 —	1,438 —	1,560 —	1,590 —	1,714 —	1,958 —	1,974 —	2,050 —	1,913 —	2,238 —	2,411 —

(資料出所) 日本以外のOECD加盟国(上記のうち日本、中国、ロシア、ブラジル、インド以外の各国) : OECD “Annual National Accounts Database” (令和5年12月現在)

日本 : 経済社会総合研究所推計値

(円の対米ドルレートは、東京市場インターバンク直物中心相場の各月中平均値の12か月単純平均値を利用。名目GDP(ドルベース)は、円ベースの推計値を左記の平均値によりドル換算して算出。

人口は、総務省「人口統計月報」月初人口の単純平均を利用。)

中国 : 中国統計年鑑2022(為替レートはIMF “International Financial Statistics”)

ロシア、ブラジル、インド : 世界銀行 “World Development Indicators Database”

(注) 中国は香港及びマカオを含まない

(参考) 2021(令和3)暦年における、円の対米ドルレートは109.8(円/ドル)(東京市場インターバンク直物中心相場の各月中平均値の12か月単純平均値)

2022(令和4)暦年における、円の対米ドルレートは131.4(円/ドル)(同上)